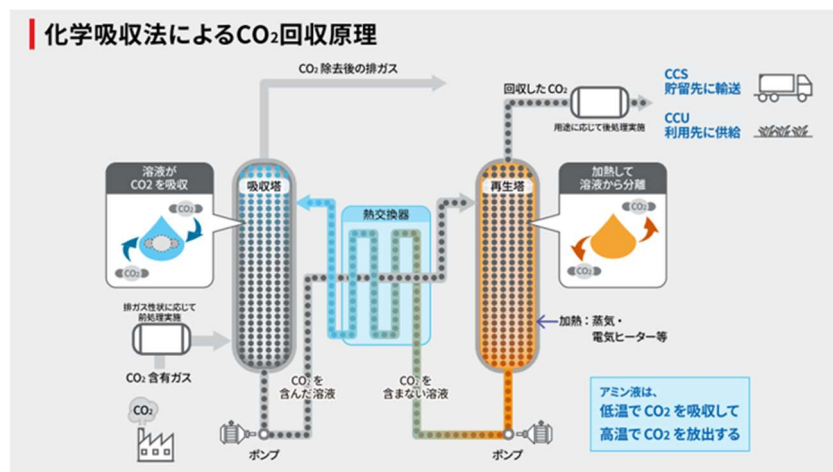


焼却炉排ガスからのCO₂回収の実証に向けた設備投資計画について

当社は、神奈川県川崎市で運営している産業廃棄物焼却処理施設(ウェステックかながわ)の排ガスからのCCU*1(CO₂を分離、回収、利用する技術)実証のため、東芝エネルギーシステムズ株式会社(以下、東芝エネルギーシステムズ)の小型CO₂分離回収試験装置TOMCAP™miniを導入します。本試験装置は2026年5月末の運転開始を予定しています。本設備の導入により、プラントから発生する排ガスから、1日で最大10kgのCO₂を回収できます。



CO₂分離回収設備は、火力発電所や清掃工場などから排出されるCO₂を回収するための設備です。東芝エネルギーシステムズではCO₂の回収方法として、燃焼排ガスに広く適用でき、CO₂の回収規模が任意に設定可能な化学吸収方式による燃焼後回収技術を採用しています。本方式で用いる水溶液は、低温時にはCO₂を吸収し、高温時にはCO₂を放出するという特性を有しており、その特性を利用してCO₂を分離回収します。



当社は、2050年のカーボンニュートラル達成およびネイチャーポジティブ(自然再興)の実現を目指す中で、有害成分を含む産業廃棄物の焼却による無害化過程で発生する「廃棄物由来CO₂」を削減する課題に対して、自ら「焼却炉排ガスからのCO₂分離回収・利用の実現可能性検討」の取組みを推進していきます。

*1: Carbon dioxide Capture and Utilization

東芝エネルギーシステムズのCO₂分離回収技術の詳細はこちら

<https://www.global.toshiba/jp/products-solutions/thermal/products-technical-services/zero-emissions.html>